

農林 水産部

「伊是名農業水利事業」 がスタート

9年度から全体実施設計を行っていた国営伊是名農業水利事業が11年度から事業着手することとなりました。

この事業は、伊是名島の農振農用地域内の畑地520haを対象に水源施設としての千原地下ダム、大野山内貯水池及び基幹的な用水路の新設を行うもので、国営事業により造成される全施設は20年度までには完成の予定です。

また、関連事業として畑地集水池・支線用水路等の施設の整備が県営かんがい排水事業、基盤整備促進事業などにより行われます。

これらの国営事業及び関連事業により、伊是名地区全体の用水不足が解消され、農業生産の安定と農業経営の発展に貢献することが期待されます。

なお、事業所の開所式が5月12日に関係者多数の出席の下、盛大に挙行されました。

伊是名地区 国営かんがい 排水事業 計画平面概略図



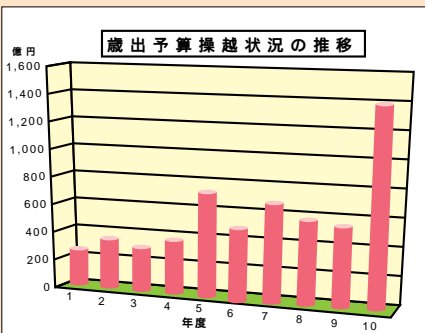
財務部

過去最高の歳出予算繰越承認

平成10年度における繰越の承認額は、緊急経済対策による大幅な公共事業費の増加から1,426億1百万円(対前年度比861億51百万円、152.6%増)と過去最高の額となった。

これにより公共事業の端境期である4月～6月においても事業量が確保されることから切れ目の無い公共事業の執行が可能となり、県内景気に好影響をあたえるものと思われる。

なお、緊急経済対策の一環として実施された地域振興券交付事業助成費についても事業実施を円滑に進める目的から繰越が承認された。



平成11年度国有地売却実施計画決定

平成11年度の国有地の売却実施計画が決定された。

第1回目の売却予定は以下のとおりとなっている。

1 日程

公示日:6月上旬 入札・抽選日:6月下旬

2 物件

一般競争入札物件

	所在地	数量(m ²)
1	那覇市金城2丁目20番10	320.44
2	那覇市首里鳥掘町1丁目29番3	954.99
3	那覇市壺川阿手川原258	71.00

価格公示売却物件

	所在地	数量(m ²)
1	那覇市首里末吉町1丁目188番15	180.01
2	那覇市若狭1丁目2番23	146.02
3	那覇市若狭2丁目19番19	143.39



局の動き

総務部

平成10年度 独占禁止法講演会開催

公正取引室では、3月12日にメルバルクオキナワ郵便貯金会館において、平成10年度の独占禁止法講演会を開催しました。

当日は、県内の行政機関、事業者団体、企業から約300名の出席者があり、講師の名古屋経済大学法学部

中山武憲教授が「我が国の独占禁止法について - 諸外国との比較 - 」と題して講演を行いました。

中山教授は、講演の中で、はじめに、独占禁止法の目的である「公正かつ自由な競争の維持・促進」についての説明するとともに、米国等の諸外国との比較を交えながら、主な禁止規定である「私的独占」、「不当な取引制限」、「不正な取引方法」について説明を行いました。

次に、違反行為に対する処理手続きと最近の違反事件について説明を行いました。

最後に、経済グローバル化や経済構造の変化、規制緩和の流れの中で、競争政策がますます重要となって来ていることなどについて説明を行った後に、競争政策の今後の課題を紹介し、講演を終了しました。



野中広務沖縄開発庁長官来沖

野中沖縄開発庁長官が4月9日から10日の日程で就任後初来沖しました。野中長官は、9日に沖縄総合事務局職員に対する訓示や稲嶺沖縄県知事との懇談後、沖縄尚学高等学校を訪れ「選抜全国制覇」を祝いました。10日は那覇港湾施設視察、那覇新空港ターミナル視察、経済団体及び市町村団体との懇談の後、記者会見で沖縄の諸課題について抱負を述べました。

開発 建設部

遙かニレーの海に架かるニライカナイの橋
塩屋大橋 開通



一般国道58号大宜味地区では、波浪による越波や大雨による土砂崩れなどの恐れがあることから通行規制区間に指定されていますが、平面線形が悪く道路幅員も狭いため、幹線道路としての機能を十分に果たしていない状況にありました。このような状況の中、昭和57年度より交通安全の確保、幹線機能の向上を目的とした大宜味拡幅事業が進められてきましたが、この度平成11年3月27日に当事業の要とも言える新塩屋大橋が無事開通しました。開通式当日は、激しい降雨にもかかわらず来賓及び地元関係者が多数出席する中、開通式典及び、祝賀会が盛大に取り行われました。また、塩屋区の神人による礼拝や塩屋区の「総踊り」、国頭村の「クンジャンサバクイ」などの記念演舞、塩屋小学校鼓笛隊によるパレードなど地域色豊かな式典となりました。今回の塩屋大橋開通をもって、大宜味拡幅事業はその目的をほぼ達成し古い塩屋大橋の撤去工事及び橋詰整備工事に着手しますが、今後は新しい塩屋大橋がやんばるの新しいシンボルとなり得よう地元の声も踏まえ環境整備について検討して参ります。



運輸部

待望の陸運事務所八重山支所
及び検査場の落成式を挙行

去る3月25日(木)、陸運事務所八重山支所及び検査場の落成式が、関係者約100名の参加のもと新築移転先の石垣市字真栄里上原において挙行されました。

八重山支所は、昭和47年の本土復帰と同時に石垣市に設置され、昭和49年4月から検査・登録業務を行ってきました。しかし、旧用地は敷地が狭隘のため、業務繁忙期には受検車両が敷地からはみ出したり、また、大型車両の出入りに支障があり、さらに検査用機器の老朽化が進み、適正な検査業務が執行できないおそれがでてきました。

このため、平成9年度予算で移転用地(4,500㎡)を購入し、平成10年度予算で庁舎、検査場の新築と自動検査用機器の更新を行ったものです。



通商 産業部

「地球環境と夏時間を考える国民会議」
沖縄地区地方ヒアリングの実施

通商産業部では、4月12日に那覇市内において「地球環境と夏時間を考える国民会議」による沖縄地区地方ヒアリングを実施しました。

一昨年12月の地球温暖化防止京都会議では、我が国の温室効果ガスの削減目標が1990年比マイナス6%と決定されました。



政府は、この目標を達成するため、「地球温暖化対策推進大綱」を昨年6月に決定しましたが、この中で、夏時間(サマータイム)について、「社会全体が夏季の朝夕の日照などを有効に活用するシステムに切り替え、人々が自ら地球環境にやさしいライフスタイルを工夫し、実現するきっかけとなる夏時間の導入について、多面的な議論を行う。」こととし、昨年9月に「地球環境と夏時間を考える国民会議」を発足させ、これまでに中央国民会議及び地方国民会議を7回開催し、3月末に報告書の中間取りまとめを行いました。

地方ヒアリングは、最終取りまとめを行うにあたり、全国9地区で行われたもので、沖縄地区地方ヒアリングには国民会議委員のNHK解説委員伊藤和明氏が出席し、県内から産業界や消費者等を代表して10名の方が意見陳述を行いました。

通商産業部ホームページ

<http://www.okinawa-ric.or.jp/virtualtown/movee>